

障がい者スポーツ支援

～インクルーシブ社会の実現に向けて～

当社は企業理念『三綱領』に沿って、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。その一環として、2014年には障がい者スポーツ応援プロジェクト「DREAM AS ONE.」を立ち上げ、インクルーシブ社会の実現に向け、さまざまなスポーツ大会への協賛や選手の支援などを行っています。東京2020パラリンピックには、当社所属のアスリート5人が出場し全選手が入賞しました。当社の取組と、当社所属選手をご紹介します。

DREAM AS ONE.

当社は社会貢献活動の軸の一つとして「インクルーシブ社会の実現」を掲げ、障がい者スポーツを応援するプロジェクト「DREAM AS ONE.」に取り組んでいます。同プロジェクトでは、障がい者スポーツの理解度・認知度の向上や、裾野の拡大を目指し、トップアスリートの支援から、障がいを持つ子どもたち向けのイベント開催まで、さまざまな活動を実施しています。当社はDREAM AS ONE.の活動を今後も継続・発展させていきます。



当社所属の選手も参加し、障がいのある子どもとその保護者でパラスポーツを体験する教室「DREAMキャンプ」



車いすラグビー

2大会連続 銅メダル獲得

前回のリオ大会に続き2大会連続で銅メダルに輝き、大きな注目を浴びた車いすラグビー日本代表。当社所属の2選手が選出され出場しました。手足の感覚や筋力が徐々に低下する難病のある池崎選手は今回でパラリンピック出場3回目、エースとしてチームの攻撃をけん引しました。頸髄を損傷した影響により両手足に障がいのある今井選手は、守備の要として2回目のパラリンピック出場を果たしました。両選手とも、リオ大会、2018年の世界選手権優勝時も主要メンバーとして活躍しました。



池崎大輔選手

たくさんの応援ありがとうございました。金メダルに届かなかったのは悔しいですが、皆さんの応援で取れた銅メダル。次はまた違う色のメダルを目指します。



今井友明選手

厳しい状況の中で、多くの人の支えを実感しました。目標としていた金メダルではないですが、銅メダルという形で皆さんへの感謝を表現できたことはうれしいです。

競泳

シーズンベストを記録し4位入賞

東海林 大

200m個人メドレー 4位
100mバタフライ予選 11位
混合4×100mフリーリレー
4位(アジア記録)



自閉症スペクトラム症により気持ちのコントロールが難しい東海林選手ですが、高校1年時から本格的に競泳に取り組み、日本記録やアジア記録を次々に更新。念願の初出場となった今回、200m個人メドレーでシーズンベストの記録で4位入賞を果たしました。



「自分を信じて全集中して
戦えたことが、自信になりました。
悔いはありません」

競泳

目標の決勝に進出

西田 杏

50mバタフライ 8位



写真提供 朝日新聞社

先天的な上下肢障がいのある西田選手。リオ大会の出場を逃した後、競技転向を検討するなど苦しい時期が続きましたが、今年度には2度日本記録を更新して出場決定。以降、決勝進出を一つの目標に練習を積み重ね、見事予選を通過して決勝に進みました。



「小さい頃からの夢で、やっとつかった舞台。
この1年はつらい時が多かったですが、
本当に楽しい試合でした」

競泳

記録更新！日本新×3、アジア新×1

辻内彩野

混合4×100m 49ポイント
フリーリレー 5位(アジア記録)
50m自由形 7位(日本記録)
400m自由形 8位(日本記録)
100m平泳ぎ予選 10位



写真提供 朝日新聞社

水泳一家に生まれた辻内彩野選手は、大学入学後、視力が低下していく難病の診断を受け、2017年からパラ水泳に転向。今大会では、日本代表チーム「トビウオジャパン」の副キャプテンを務めました。本命の自由形では2つ、日本記録を更新し入賞、リレーではアジア記録を更新しました。



「競泳会場は生まれ育った地元の
すぐ近く。緊張もせず、伸び伸び
楽しんでレースできました」

中国で障がい者サッカー大会を支援

当社の障がい者スポーツ支援活動は国内だけにとどまりません。中国・北京では、三菱グループ10社と共に、障がい者民間サッカー大会「三菱友誼杯」を、中国側パートナーとの共催で2015年開始当時から支援しています。同国はパラリンピックでも数多くのメダルを獲得するなど競技者レベルでの環境整備が進む一方で、一般的に障がい者がスポーツを楽しむ機会が限られていました。本大会は聴覚・視覚・知的の障がい別にチーム編成し、より多くの方々にスポーツ参加を促す場として親しまれています。



三菱友誼杯での一場面(ブラインドサッカー)